

のびる

53.10.5
第17号
道南腎協
0138
55-1185

社会復帰に意欲を燃やす

函病で透析を受けて早や三年になるうとして、いる中島康夫さん、秋田章浩さんの二人は、今年になって自動車二種免許を取得した。透析をやリながらの教習所通学、二種という難関はさぞゆるくなかったことと思います。しかし今は、中島さんが道南ハイヤー、秋田さんがキングハイヤーへ就職し、社会復帰を敢然とやっていたのです。健康時の仕事と違い、畑遣いの職場はまた勇気のいることです。月・水・金は昼間透析のため、仕事は火・木・土の朝八時〜次の日の朝まで、多少へマトが下ったとなげいていますが、食生活に気をつけているので体には異状なし。函病透析室では、今年には免許はやり、生沢さん、稻荷山さんの十九才コンビも普通自動車免許をすでに取得、菊池さんも大型免許に挑戦とか聞きます。このように一人でも多くの仲間が、社会復帰ができるといいですね。

現在、身体障害者が自動車運転免許を取得する際に要する経費の一部を補助する制度は、次々二つがあります。

〔道〕 身体障害者自動車運転技術取得事業

〔市〕 函館市重度身体障害者運転免許取得費補助金交付制度

透析患者は、その恩恵を受けたし書きで、内部障害者を除くしとなっており、中島さんや秋田さんのように免許取得が直接社会復帰に結びついている事実を

考えるとき、ただし書きを削除し、制度の拡大を願いたいものです。

なお、この制度を利用した人は、五十年四人、五一年四人、五二年二人と極めて少数です。

また、自動車を購入する時は、自動車税、取得税が免除されます。手続はセールスマンに代行してもらおうとよいでしょう。

福祉手当について（国の制度）

「目的」

この制度は、王冠、王冠等事等に対する福祉の措置の一環として実施するものであり、その重度の障害によって生ずる諸々の負担の一助として手当を支給し、これら重度の障害者の福祉の向上を図ることを目的としている。

「対象者」

- 左記に掲げる程度の障害を有する障害者に対して支給
1. 両眼の視力の和が0.0以下
 2. 両耳の聴力が補聴器を用いても音声を識別できない
 3. 両上肢の機能に著しい障害を有するもの
 4. 両上肢のすべてを指を欠くもの
 5. 両下肢の用を全く失ったもの
 6. 両下肢の用を全く失ったもの
 7. 両大腿を二分の一以上失ったもの
 8. 両大腿を二分の一以上失ったもの
 9. 両上肢の機能を座っていることができないう程度の障害を有するもの
 10. 前各号に掲げるもののほか、身体の機能の障害又は長期にわたる安静を必要とする病状が前各号と同程度以上と認められる状態であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- （略）
- 「支給対象除外」
 痲疾を支給事由とする各種年金を受けているとき、ただし障害福祉年金を除く。

「手当額」

月額 六、二五〇円

「支給月」

四月、八月、十二月

「所得制限」

扶養親族等の数	障害者本人の所得額	配偶者及び扶養義務者の所得額
0人	800,000円 (1,336,000)	5,813,000円 (7,537,000)
1人	1,000,000 (1,644,000)	5,982,000 (7,814,000)
2人	1,260,000 (2,016,000)	6,195,000 (8,050,000)
3人	1,520,000 (2,388,000)	6,408,000 (8,287,000)
4人	1,780,000 (2,760,000)	6,621,000 (8,523,000)
5人	2,040,000 (3,112,500)	6,834,000 (8,760,000)

* ()内は給与所得者の場合の年間総収入。

米福祉手当の請求手続は、市役所、町村役場の福祉課（福祉係）で行なっています。

(5) 調査の結果 (3)
社会復帰について

27. 労働について

	人数	%
働いている	39	46.4
働いていない	42	50.0
無回答	3	3.6
計	84	100

28. 働いていない理由

	人数	%
自信なし	15	38.5
職場なし	12	30.8
適職なし	1	2.6
止められている	5	12.8
その他	6	15.4
計	39	100

29. 職種

	人数	%
会社員	7	11.9
主婦	15	25.4
商工自営	3	5.1
公務員	11	18.6
自由業	6	10.2
農業	1	1.7
漁業	3	5.1
学生	1	1.7
アルバイト	7	11.9
その他	5	8.5
計	59	100

30. 労働日数

	人数	%
2日	1	2.6
3日	3	7.9
4日	8	21.1
5日	6	15.8
6日	15	39.5
7日	5	13.2
計	38	100

31. 職場の理解

	人数	%
理解ある	22	56.4
まあまあ	11	28.2
理解なし	2	5.1
無回答	4	10.3
計	39	100

32. 給料への影響

	人数	%
ある	12	30.8
ない	24	61.5
無回答	3	7.7
計	39	100

33. 職を探しているか

	人数	%
求職中	10	23.8
探していない	30	71.4
無回答	2	4.8
計	42	100

37. 52年度の収入

	人数	%
0円	12	17.9
50万円未満	15	22.4
100万円*	7	10.4
150万円*	9	13.4
200万円*	3	4.5
250万円*	3	4.5
300万円*	6	9.0
400万円*	4	6.0
500万円*	2	3.0
500万円以上	2	3.0
無回答	4	6.0
計	67	100

27. 「労働について」の調査では、職種別の項目に主として三九(四六・四%)が合わなくていない人がいる。また、三五(一〇・〇%)は職を探しているかという調査では、求職中が一〇(二六・八%)が合わなくていない人がいる。三〇(七二・四%)と探していない人が多くなっているが、この中にも主婦が含まれており、実質的な求職者の割合はもっと高いと考えてよい。

◎ 社会的な求職者の割合はもっと高いと考える。この中にも主婦が含まれており、透折患者を受入れる公社が欲しい。患者自身も積極的になるべきだ。たとえば、仕事にたえられない体力作りなど。ストア式の大きな店舗で患者自身で経営できるようにしたい。患者自身が積極的に社会復帰するよう努力すべきであり、又、行政でも身障者の雇用率向上の確立を。

◎ その他の意見
 ・市営駐車場を無料にしてほしい。
 ・医療体制側からの情報してほしい。

「国会請願署名カンパ」よろしく
 十一月末まで